婦人と新社會

山田わか主筆

二月號

際物的商品としての思想

婦人問題と人道問題

◎人間社會の性質を理解する必要

◎廣義の社會問題は十八世紀以後のもの

◎社會問題を包含した文献

◎サンシモンの思想の變化

◎婦人運動の方向轉換の時

◎婦人運動の終局の目的

丸ビルを中心とした職業婦人

大正九年二月二十三日第三種郵便物認可
大正十五年二月一日印刷納本

毎月一回一日發行　第七十一號　大正十五年二月一日發行

東京[illegible]婦人と新社會[illegible]發[illegible]

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

際物的商品としての思想

思想を賣物にすると云ふことは昔からあつたかも知れませんが、それは、今、殊に盛んです。

賣物にする思想とはどう云ふものかと云ふと、それは、差し當り自分の利益とすることの外には何の役にも立たない思想を巧みに造り上げて、そして、それを無經驗な人間や、無經驗な國家乃至混亂してゐる社會に賣り付けることです。さう云ふ思想の仲買人が無數にあることも勿論です。

商品となる思想の種類は、いろ/\あります。政治、法律、經濟、宗教、哲學、文學と云ふようにそして、猥褻文學などは、一時、最も廣い販路を占めてゐました。

この頃になつてからはいろ/\新らしい商品が出來て「國際聯盟」だの「世界平和」だの「人類愛」だの「世界の勞働者の團結」だの「男女同權」だの云ふレッテルが貼つてありますが殊に最新流行の思想品は「革命」であります。

で、それ等の思想が商品であり營利を目的とするものであると云ふことは、恐らく、一ッ二ッの例を擧げて見れば充分でありませう。

たとへば、英國や佛蘭西が「國際聯盟」に熱中するのは、それを賣物とし、そこから國民主義と云ふ利益を儲けようとするのであるし、米國の主張する「軍縮」は勿論同國の利益が中心であるし支那の政治家が「關稅改革」だの「治外法權の撤廢」だのと云つた處で、それは全體としての支那國民のためと云ふよりは私腹を肥やすためだと云ふことは誰でも知つてゐる事實です。

國際の事柄に關してばかりでなく、國內の事柄に關しても「勞働階級の保護」や「文化普及」のレッテルによつて莫大なる資金をあつめ、却つて、なまけ者を造つたり、デックリボゥの贅澤に備へたりしながら、實にうまいことをして居る向きがあります。

が、それ等の入費が天から降つて來るのでない限り、既でに、租稅誅求に呻吟してゐる國民の大多數に一層高い租稅が直接間接にかけられることになります。

そして、さう云ふ際物的商品としての思想の買手は、親のスネをかぢつて居て凡てに於て無經驗な學生のうちに、又は、國の寄生蟲なる無生產者のうちに、或ひは、又、學校を出たばかりの官吏のうちに多いのです。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人問題と人道問題

人間社會を理解する必要　一體、社會問題とは何にかと云ふと、それは、人間と人間の關係は如何にせばよりよくなるか？　どうしたら、より精選された方法で共同がより圓滑に營まれるかと云ふことでなければなりませんが、併し、今日迄の並びに現今の勞働運動並びに婦人運動は自己主張、自己保存に終始する自然主義的道德觀に囚はれ、ルソーの革命思想に煽られて自己犧牲の精神や義務觀念を益々稀薄にして行き、其の結果、非常な道德上の墮落を招到してゐます。

　ですから、人類共同の重要さが誰にでも切實に感ぜられてあるにも拘らず、今日の社會は、唯、單に見渡しただけでも、その共同の術が實に不完全であるのみならず、猶、より多く不完全になりつゝあります。

　其處で、人間社會の性質を理解する必要は今大浪のやうな勢ひをもつて現代人に迫つて來てゐます。

　科學的知識の成長は人間に自然界を支配することを致へました。そして、益々支配しつゝあります。

　科學的研究法は知識が益々進んで行くと云ふことを保證し、發見と發明の無限な引きつゞきの見込みを與へてゐます。併し、自然界に關する科學的知識の進歩にも拘らず人間界は依然と混亂と爭ひと、大なる苦しみの世界たることを免れません。そして、婦人運動の自我の主張、

個人權確立の要求は其の混亂と苦しみを一層大きくして居ります。人間の共同生活、つまり、お互ひ同志の關係、社會的單位としての家庭、家庭と家庭の關係、家庭以外の團體と團體との關係、これ等は決して滿足的のものではありません。又、確實にもなつてゐません。

人間は社會に生活してゐます。そして、これらの社會の性質それ自身が不完全ながらも共同生活の生産物であります。則ち、人間の一組織であります。同時に社會單位則ち家庭的集團がその社會の中に結び付けられてある人間の生活と性質とをかたちづくるに當つて一つの力となつてゐます。故に今日の最善な思想の大部分が社會の研究に則ち社會問題にそゝがれてゐると云ふことは最もな話であり同時に賢い行き方であります。

そして、此の方面の研究を進めれば進める程社會から、男子から、次代から切り離した單なる自己主張、自己保存、個人權確立の婦人運動の缺陷が益々明らかになつて來ます。

廣義の社會問題は十八世紀以後のもの

勞働問題及び婦人問題をも含む社會問題なるものゝ起原及び由來に付て聊か述べて見たいと思ひますが、一體、最も廣い意味に於ける社會問題と云ふものは十八世紀以前には存在してゐませんでした。人はさう云ふことに氣が付いて居なかつたのです。昔の哲學的思想の中には存在してゐなかつた此の問題が徐々と結晶し、明瞭になつて來たのは十九世紀のいろ／＼の勢力と利害關係とが聯結してからであると云はれてゐます。

社會問題と云ふことはつまり人間社會の問題で、又、最も廣い意味に於ては種族の問題です。で昔の哲學、たとへばプラトーやアリストートルの哲學の如きものがこの所謂人種問題則ち社會問題を取りあつかつてゐる如くそれより數世

紀後にも或る特種の見地から見るとセントォガステンやホッブスやスピノザやグロシアスの如き思想家も社會問題を論ずる材料を與へてはゐます。

處で、この社會問題なるものは彼等が考へて居たよりも大きいこと、その解決は自然科學及び歴史を基礎にしなければならぬこと、同時にその自然科學や歴史は人間共同生活の哲學と聯合しなければならぬこと、かう云ふことは十八世紀の後半以前には認められてゐなかつたのです。

昔の學者は歴史的の材料や獨斷的な概念から出立して政府並びに立法の利益――勿論そのうちには宗教的立法も加はつてゐる――それから政治的商業的進歩のために時によれば因習的な理論に反對してそして差し當り必要な社會改革を行はふとはしました。

けれども、人間の共同生活の起原や組織や發達を説明する材料を公平にあつめて　そして、國民性則ち人種と云ふものゝ生れや歴史的發達やそれから最高點に到着した状態や衰微した状態やを理解したり、所謂自由國家と稱へられるものゝ性質の將來を豫想し、その性質に對する觀念をかたちづくつて見ると云ふこと、及び人類の國際的、社會的の組織の將來を豫想し、それに對する觀念をかたちづくつて見ると云ふこと凡てかう云ふ諸問題は過去百五十年間に於てのみ有識に認められるやうになつたものです。

そして此の百五十年間と云つた處でさう云ふことを考へた人は實は幾人もありません。さう云ふことを考へた人は非常に獨創的な心の持主で目の前の社會を捨て、道德的であり合理的な社會を再建設しようとして大膽に諸説を發表した。そして、その後に始めて多くの人々が其の點に氣づくようになつたのです。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

處で充分なる自覺と責任とを持つてその改革を爲さうとする機會は米國の殖民地が獨立戰爭をひき起しその結果として世界に向つて人權の布告を爲した時及びそれから十五年後に、則ち一七九一年に佛蘭西の革命後の憲法に於て、佛蘭西人が米國人と同じ主張をし、米國の憲法に幾分の改良を加へた憲法を造つた時でありました。

　米國の獨立とか佛蘭西の革命とか云ふやうな大事件に伴つて當然起る思想の大變化がなかつたならば歐洲の一流の思想家も今日の所謂社會問題と稱するものに大きな注意を拂ふようにはならなかつたであらうと云はれてゐます。

　社會問題を包含した文獻　十八世紀後半の文獻中に今日の社會問題の最も充實した最も現代的な概念を持つてゐた思想家を求めるならばそれはたしかに獨逸のヘルデルに相違ない。

　ヘルデルが彼の一大著書に『人間史に對する觀念』と名づけたのは彼が此の社會問題が如何に大きく且つ複雜なものであるかを理解してゐたからです。

　そして、その次にはロッツが『小宇宙』を書きました。この著作に彼は『自然科學と人間史に對する觀念』とサブタイトルを付けましたがこれはヘルデルの書いた人間史を、一層大きく哲學的にしたものです。

　併し、ヘルデルが人間史を書いた前に多くの思想家が此の社會問題なるものに注意を向けてゐました。

　殊に佛蘭西に於てルソーはその當時の人間の生活があまりに人爲的であることを攻撃して、『自然に歸へれ』と主張しました。けれどもルソーの社會問題に貢獻した永久的價値は瑞西及び獨逸の國民教育に對してゞありました。

　ルソーと云へば直ちに革命思想の鼓吹者のやうに一般は考へてゐますが併し彼の革命思想な

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

るものは今日の世の中で云つて見れば廣告か新聞の宣傳のやうなもので單に人の心を煽つただけのものです。

　思想家の考へのうちに社會問題なるものが潜んでゐたしるしはむしろ他の國の文献のうちに發見されます。たとへば伊太利に於てはビコーの書いたもの、英國に於てはケームス及びモンボドーの書いたもののうちに。そして、ヘルデルは此のモンボードーをよく讀んでゐました。併し彼が手をつけて置いた研究はズツト後になる迄は獨逸に於ては注意されずにゐました。

　ビコーの獨創的な思想は一層重要であつたがそれも長い間殆んど無視されてゐて、今日になつてやうやくその社會學的價値が認められるやうになりました。同時に佛蘭西に於てもいろいろな思想家が現れて大分十九世紀をひツかき廻しました。そして、そのうちの主もなる人はボルテールと前にも一寸云つたルソーであります。

　ルソーは自然界と精神界の要素的力を研究しそして自然を詩的に又はローマン的に解釋するのが好きでした。そして常に人があまり研究しない方面にばかり向つてゐました。彼は常に半分かくれ半分現れてゐるサヴコンシヤスな源から靈感を受けてゐたのです。

　これに反してボルテールは科學的の推理、論理的の解剖、組織的な定義及び解釋と云ふ明るい光線のうちに生きてゐました。で、それ以外のものを單なる感情とし空想として排してゐたのです。つまりルソーは基督教の人道主義者でありボルテールは批評的な懷疑論者で自由思想家でありましたが、併し、兩方ともが同じ問題を研究し同じ理想に到達しました。そして、その理想は人道と云ふ文字で云ひつくせる。此の理想がやがて科學的の概念となり、その最大なる代表者はコントです。

　コントに於てその概念が奇想的ローマンテツ

クの色彩を帶びた人道主義になつたのです。

社會問題に對する貢献者は歐洲にも幾人かありましたが、それ等の學者よりはもつと穩健で永久的の價値のものはむしろ英國から出てゐます。英國の思想家が米國と佛蘭西の政治上の革命から非常な影響を受けてゐることは勿論です、で、より大きなより抽象的なより哲學的な見地から社會問題を論じた學者も相當にありましたが、とにかく數世紀の間英國の學者は主もに政體論、社會秩序、代議制度、思想の自由、宗教の自由などの問題を論じてゐました。

ですから、社會問題解快に對する英國の貢献は廣い精神に於て社會問題を見たと云ふよりも政治的及び產業的進步によつて暗示された局部の問題を切りはなして論ずる點にありました。

たとへば、アダム・スミスが『富國論』によつて經濟問題の解決を試み、後にはベンザムが彼の『立法論』によつて立法問題の解決を試みたように。そしてベンザムの勢力はミル親子の勞力を通して益々一般に認められ、ますます重要視されるやうになりました。そしてジョン・スュチュアート・ミルは心理學及び論理學の研究に於て政治論及び經濟論の一層深き土臺を造らうとしました。

それから、ミル親子の心理學及び論理學の研究に加はふるに英國は自然科學と人間史の研究にも價値ある材料を提供してゐます。則ちタイラーやラボックの『人類學』及び『古代文明論』がその結果であります。

サンシモンの思想の變化　詳細は略して此處に先づ英獨佛の社會問題に對する態度の經路を要約して見るならば、佛蘭西の思想家は社會問題に對する近代に於ける最初のものであつて、科學的の精神に於て二三の單純な總括法を基礎として進んで行きました。

獨逸の思想家は社會問題の廣大たことを一そ

う深く認めて一そう哲學的な研究の仕方で進んで行き、そして、英國の思想家は佛蘭西の思想家のように革命的ではなく、又、獨逸の思想家のように哲學的でもなく、けれども、問題を一つ〳〵丁寧に忍耐して取り扱ひ實際上の解決に到達する點に於て成功しました。

　けれども、三國の此の特長は十九世紀に入つてから無くなつてしまいました。つまり、社會問題の輪郭も解決の方法もほゞ同じやうになつたわけです。云ひかへれば社會問題を解決する方法則ち學問が出來たのです。そして此の學問を佛蘭西に於てコントが社會學と名づけました

　併しながらコントが社會問題の解決法を研究する學問を社會學と命名するにはいろ〳〵の經路を經てゐます。たとへば、委しくは此處では云へないが社會學と倫理學との關係倫理學と心理學との關係、倫理組織の中心問題、英國の社會學と佛蘭西の社會學との對照、社會問題の區分、佛蘭西人の取り扱つた社會の性質、英國に於ける經濟問題、獨逸に於ける社會史の問題、ルソーの活躍、重農論者の勃興、アダム・スミスのそれに對する反駁、スミスの倫理學と經濟學との對照、正義の原則に求められた社會的調和、リカードとマルサスの關係、ボーナルド・マイストルの反動派等の諸現象がありますが、それ等の詳細論を略して近代社會主義の源泉なるサンシモンのことを一言云へばサンシモンが現代社會思想界の大醱酵劑であつたことは疑ひありません。社會問題のうちの主もなるもの則ち社會組織の問題を前面にかつぎ出し、各方面からこれを論じ豫言的に、けれども、しばしば無意識に、彼の時代以來社會理論と社會の實際とに現れた多くのものをサンシモンは豫想してゐました。

　サンシモンは哲學的及び抽象的の興味を社會に對する實際的の知識に連結してゐた。つまり

科學と人道と云ふことが彼の主もなる思想であつたのです。彼は組織的ではなかつたけれども大膽であり實際的でありました。彼は相當に宗教的の興味も持つてゐました。否、神秘主義者であつたかも知れません。なぜなら彼は國家の政教一致を信じてゐました。けれども彼は宗教を僧侶の手から取つて科學者の手に渡さうとし政治を貴族の手から取つて平民に渡さうとしました。併しサンシモンの思想は彼の一生を通じて同じやうではなく追々に變じて行きました。そしてその變化の跡は彼の著書に現れて居ります。

則ち『十九世紀の科學的勞力に對する序論』は一八〇七年に現れ、七年後には『歐洲社會の改造』猶七年後には『產業組織論』それから四年後には『新基督教』が出ました。これに加ふるに一八一九年から二十年に亘つて『組織者』と云ふ雜誌を發行し、一八二五年には『生產者』と云ふ雜誌が出ました。つまり、最初抽象的科學論から出立して產業商業の實際論者となり、勞働並びに國家財政の組織に重きを置くやうになり、そして、その後は、統一的、精神的の原則が缺けてゐることに氣づき、道德的情操の殊に同情の保護者として藝術に力を入れるやうになり、最後には教育問題に迄頭れて行きましたそして、多くの社會改革家と同じく社會の宗教的要素の多くを要求するやうになりました。そしてこれが彼の最終の主張であつて彼の最初の議論はそれがために大分破壞されてしまひました。つまり愛の宗教を說くやうになつてしまつたのです。そしてサンシモンの此の愛の宗教がコントの人道主義の芽となつたわけです。なぜならコントはサンシモンの散漫なる諸說を組織づけ一つの體系と爲した。そして、それがコントの實證哲學であります。

婦人運動の方向轉換の時

上に擧げた社

會思想の經路及びサンシモンの思想の變化を見ても明らかであるやうに、あらゆる問題が單獨のものから總合へと進み、そして、始めて解決の曙光を見ることが出來るやうになつてゐます此の文の始めに於て、今日の婦人運動は自然主義的道德觀に囚はれてゐると申しましたが自然主義の倫理觀は前にも云つたやうに自己保存と自己主張に限られてゐますから、これを宇宙的に見れば生存競爭又一ぺんして適者生存主義になります。經濟的にはこれが競爭となり、國際的には帝國主義ともなります。これでは到底平和の來る時はありませんが、實に、今日迄の婦人問題は此の思想の影響の下にのみありましたそれがガイデングプリンシプルになつてゐました。ですから、婦人の人としての權利の要求となり、經濟の獨立となり、戀愛、結婚、及び、離婚の自由の要求となり、母性を避けるための國立育兒院の設立とか叫ばれるやうになりました。

實に自然主義の特長として內部則ち精神側よりも外部則ち物質側に傾くものでありますからこれでは完全な調和、平和な健全な解決に到達することは困難です。解決に到達する處ではなく鬪爭の絕える時はないでせう。階級爭鬪と男女の爭ひとに終始してゐなければならないのです。

其の爭鬪に終始すること、及び、行きつまることを避けるには、ともすれば自己中心であり利己主義の範圍を出ない自然主義的道德觀の影響から脫して理想主義との調和を計らなければならない。そして、これは社會學と人類學の結合となり其處に一種の人道主義が生れることになるのです。

そして、自己主義のうちに利他主義を見出し自己のための生存競爭の代りに、ドラモンドの云ふ他人のための生存競爭とならなければなら

ない。此處に出立點を置くことによつて婦人問題は始めて男子との調和、及び、社會との融和を實現し得て、そして、平和な健全な解決に到達することが出來るのです。

今日迄の且つ、今日の大部分の女權主義的婦人運動に對して私は攻擊的の態度をとつて居りますが、と云つて私はそれが全部誤まりである惡であるとは申しません。婦人の人格を全然無視してゐた男の造つた舊社會を覺醒させる爆彈として今迄の女權主義的運動は役に立つたけれども、いつ迄も此の調子を續けて行つてはならない。方向轉換の時期に到達してゐることを私は主張するものです。

婦人運動の終局の目的　宗教革命をもつて始まり佛蘭西革命となり今猶社會革命の名によつて進められてゐる大民衆運動は民衆の權利と要求と利益とを前面に押しすゝめてゐるのですが、どう云ふ方法でその運動を進めてゐるかと云へば一方に治者階級則ち所謂有產階級と他の一方には知力階級とを對峙せしめ、そして勞働階級則ち所謂無產階級を知力階級の後援として、社會問題を解釋し、限定し、そして解決しようとする氣運が今はきざして居ます。

勞働運動を誘導した思想と同じ思想によつて誘導されて來た婦人運動は矢張りそれ等の男子の運動に今迄追從して來たのでありますがその勞働運動に今や最近の新らしい思想の影響が及ぼされようとしてゐますから、それがやがて婦人運動の上にも影響して行くであらうことは明らかです。私が此處に着眼したのは既でに久しい前であります。そして今日迄私の主張して來た焦點も其處にありました。つまり、自己のうちに他人を見出すこと、猶、云ひ直せば自己のうちに自己の子供を見出すこと、そしてこれが家庭の新意義となり、家庭婦人の尊重となり、そして、この家庭の新らしい意義が家庭より發

して一般社會に波及して始めて男女關係の問題が解決されます。

そして、此の男女關係の問題が解決されて、始めて、政治問題、經濟問題、勞働問題引いては國際問題の解決に健全な有利な基礎が出來たことになります。

何となればあらゆる問題の解決の出立點は自己のうちに他人を見出すことであり、そして、それは女性が主宰する家庭に於て實行されてゐることでありますから。婦人問題の解決、及び婦人運動の進み行く方向に關する私の意見が誤まつてゐないと云ふことは前段に於て敍說した社會問題發生の經路殊にサンシモンの思想の變化に徵しても充分に暗示されてあると私は考へます。

要するに、社會問題の起る理由は前にも云つた通り社會的調節が不充分であるからです。

その不調節を益々大きくして行かうとする男子に對する宣戰、個人權確立を基調としてゐる英米及び其の他の文明國の女權主義的運動は或る程度迄は成功したかのやうに見へてゐます。けれども、それが本當の意味の成功ではなく、云ひかへれば、社會的調節を圓滑ならしむるに貢獻があつたかどうか？　私は大いに疑つてゐるものです。

社會的調節を計るための社會運動、殊に婦人運動は、他に對しての宣戰布告ではなく、自分に對する宣戰布告でなければならない。婦人は婦人に、男子は男子に、個人は自己に宣戰布告して、婦人は自己のうちに潜む虛榮、無學、意志薄弱と云ふような敵を征服し、男子は彼等の特性であつた驕慢、放縱と云ふやうな敵を征服する運動をしたければならない。

人は肉體のみに於て生活してゐるうちは動物です。最高な動物ではあるが、併し、動物たることは同じで、肉體の生活のために、小さい醜

い目的のために爭ひます。

が、肉體に心が付け加へられて進歩は無限となり、單なる物質的生活のための爭鬪が光りに向つての鬪爭となりおごそかなかたちとなつて來ます。一度は野蠻人であつて獲物をあさつてゐた人間が眞理の獵人となります。

併し、それでも、まだ、目的に到達したのではありません。人間の本當の生活は肉體と云ふ物質の生活でもなく、最高な知的生活でもなく愛情と云ふ溫い世界に生きることであります。其處に生活出來て始めて人間は人間らしくなるのです。

そして、社會問題とは人間が人間らしくならうとする問題です。

此の意味に於て、婦人問題とは婦人が男性化するのではなく婦人になる問題です。

婦人運動の終極の目的は婦人としての生活の完成です。

一言で云へば、社會問題とは人道問題であつて、人道問題とは人間が人間になる問題です。

婦人問題とは婦道問題であつて婦道問題とは婦人が婦人になる問題であります。

丸ビルを中心こした職業婦人

農婦、工女を除いた所謂職業婦人のうちでも、女敎員、看護婦、助產婦、及び髮結師と云ふような種類の職業婦人は以前から相當の位置を保つてゐるし、婦人の職業として最早議論の餘地は無いものとなつて居ますし、婦人記者及び女醫と云つたような方面は、又餘り數が少いので問題にはならないし、其處で、今ともすれば世間の視聽をあつめ問題とされる職業婦人と云へば、先づ、丸ビルを中心としたあの邊の給料生活婦

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

人を乃至其れに類した婦人を云ふのであらうと思ひます。

處で、その職業婦人なる者を夕方、――私が見たのは夏でしたが――東京驛頭に立つて一見するならば、一體職業婦人問題はどの邊にあるかが誰でも直ぐ思ひ付くことだらうと私は考へます。

勿論、健實な人生觀を基礎とした本當に職業に生きる婦人が無いとは申しません、けれども、あの東京驛を出入りする大多數の所謂職業婦人なる者の容貌並に服裝は何と云ふ不眞面目、何と云ふ醜さであるでせうまるで賣女のようにこて〱ぬり立て、ねまきとしか思へぬふていさいな洋服を着て貧弱な體軀をまる出しにして、しかも得々として步いてゐる處は、實にみつともないと云ふ處を通りこして不道德です。否、道德上の問題を通り越して、あんなのは法律 手で何とか仕末を付けなければならない問題だとさへ思へます。

本當に職業に生きる健實な婦人があんな馬鹿氣た服裝をするものではない。して見ると、彼女等は何をさせても仕事は未熟であるにも拘らず、性の故に醜惡な男性の興味の對照物となつて給料をむさぼつてゐるのではないか、俗惡極まる活動女優乃至カフエーの女給級の婦人達ではあるまいか、一言で云へば、職業婦人の階級に屬する資格無しにあゝして職業界に這入り込んで、そして、職業界の風儀を亂してゐるのではないかしらと云ふ感さへ深くなるのでした。

父母の膝下にあつて、家事のうちの些細な仕事も爲し得ないような何に對しても未熟な若い女が家庭を飛び出して、そして、女性である故に、又、若い故に職業を得てゐるとすれば、それは本人のためにも社會のためにも由々しい大事であります。

一方には職業婦人の權利とか職業婦人の位置の確立とか云ふことが叫ばれて居るのでありますが、併しその本尊なるそれ等の職業婦人自身は確立すべき何物をも未だ持つて居ないと云ふ實狀にあるのではないでせうか？

男子の勞働界に於ても、勞働者の指導者・勞働階級の保護者と自ら任じて居る者は、實は勞働を厭ふなまけ者で詐し小才のきく人間だと云はれて居りますが、

職業婦人界にもさう云ふ小利巧な人間が居て、そして筆の先や口の先で幼稚な職業婦人界をひつかき廻して居るのではないでせうか？

　歐米の婦人の職業の種類をまづ今思ひ當るだけでもあげて見るならば、まづ第一に經理家、政府及び會社に働いてゐる、行政官、政府の囑託、檢察官、保險、法律　圖書館、社會事業、衛生事業、大商店員の教育、工場監督、そ　外科學的の仕事や宗教及び教育の方面といふように其の範圍の廣いことゝ人員の多いことゝは驚くべきでありますが、同時に此處に注意すべきに、それ等は皆相當の資格が無ければ出來ない仕事です

　しつかりした腕前のある本當の職業婦人でありますから、云ひ直せば、相當の人格者でありますから男子の中に立ちまじつて働いてゐてもつまらない問題などは起さないのです。

　我が國の職業婦人界に問題が多いのは腕が未熟で、その資格無しに職業婦人になりすまして居るものが多いからで　。資格のない若い婦人が無數に街頭に出てゐるからです。

　本當の意味の職業婦人の數はまだ社會問題となる程其の數が殖へては居りません。

　其處で、もし、所謂職業婦人界に問題があるとすれば、それは唯一つである筈です。

　即ち、今無數にある職業婦人の卵を如何にして雛に孵化させ得るか、云ひかへれば、唯彼女等の修養の問題に止まるものだと私は考へてゐるものです。

編輯の後　この四五日は何と云ふお寒さでせう、併し此の嚴寒を味はないならば春さきの快感をも私共は知らないでせう。

本誌臨時定價表

一冊	金十錢	送料五厘
六冊	前金五十五錢	（送料共）
十二冊	前金壹圓	送料共）

▲雜誌代及郵税は前金の事▲御送金の際は振替貯金東京五三六八八番に御拂込みのこと▲郵券代用は五厘切手にて一割增▲廣告は御照會次第御相談いたします

大正十五年一月廿三日印刷納本
大正十五年二月一日發行

東京市四谷區南伊賀町四一
編輯兼發行人　山田嘉吉
東京市牛込區山吹町一九八
印刷人　大杉直次郎
東京市四谷區南伊賀町四一
發行所　婦人と新社會
振替東京五三六八八番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN